

大きくなったね！ 6年後の子どもたち。 タイムカプセル・オープンセレモニー〈わかば保育園 0B〉



いつから 始まったのでしょうか。多分10年は経ちました。

卒園のお父さんお母さんから、「子どもたちが、保育園の時の思い出や好きなおもちゃなどをタイムカプセルに入れて、6年後、中学生になる時に、またわかばで集まりたいのですが・・・。」と相談がありました。タイムカプセルと言ったら、何か頑丈なものに入れて、園庭に埋めて・・・？と思ったら、箱に入れて、園で預かっておいてほしいということ。それなら、良いですよ、ということで始まったように思います。それから毎年、卒園の恒例行事のようになりました。

6年後 小学校の卒業を控え、もうすぐ中学生になる3月に、大きくなった「わかばっ子」とお父さんお母さん、職員が集まりました。タイムカプセル・オープンセレモニーとでもいうのでしょうか。久しぶりに会う子もいて、はじめはちょっと照れくさそうですが、すぐに打ち解ける子どもたち、背もぐんと伸び、大人びて、“誰？”と、わからないほど。でも、小さいときのビデオやアルバムを見ながら「あア、〇〇ちゃんだ！」と。

こうして 始まったタイムカプセルですが、それ以後毎年取り組まれています。今年も3月に集まりました。大阪に転居されたご家族も11時間かけて車で駆けつけました。

中学生 と言えば、思春期の入り口。次第に親から離れ、子どもたちの世界は広がっていきます。そんな時期に、「あなたが小さかった頃」を知っているたくさんの仲間と大人たちから、「大きくなったね」「卒業、入学おめでとう！」と祝福されることは、子どもたちの心の栄養になっていくことでしょうか。そして、子どもたちの大きくなった姿を見ることができると、私たち保育者にとっては、最高に素敵なプレゼントです。



(文責 辻村)



初夏の谷戸に舞うゲンジボタル

きれいな川や水路などの流水域に生息し、川の上空を舞う姿は初夏の風物詩として有名です。舞岡では5月下旬から6月にかけて見ることが出来ます。オスは上空を光りながら飛び、草の上などで光っているメスを探します。関東地方では4秒に1回、明滅を繰り返します。体長はオス15ミリ、メス20ミリ前後。

野原 遊



社会福祉法人あらくさ会／わかば保育園・新杉田のびのび保育園・笹下保育園
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町992番地 Tel/Fax 045-443-5564
あらくさ会ホームページ <http://www.aragusakai.sakura.ne.jp/>

2019年6月号



「ちいさいなかま」と「おおきなかま」

新年度がスタートした途端、天皇の交代や年号が変わることで、国を挙げての大騒ぎ。テレビではどのチャンネルを回しても似たり寄ったりの画面ばかりで、消費税の10%増税問題や、保育料の無償化は悪いことではないけれど、待機児問題はどうか、これまで3歳児から保護者負担になっていた主食費が、副食費まで保護者負担になることが検討されているなど、保育にとって未解決の問題がたくさんあるのに、どうしたことでしょう。

そんな矢先、保育園児を巻き込んだ悲惨な交通事故がつづき、心が痛むばかりです。直接の原因は不注意から起きた交通事故ですが、「子どもたちが安心して遊ぶことができる園庭があったら…」と思います。横浜でも、夏にプールを設置できる程度のスペースと、近隣に公園があれば、保育所設置基準の規制緩和で横浜市長が認可をしています。今回の悲しい事故は、どこで起きてもおかしくない事故です。いま、私たち大人はなにに心を寄せなければならないのか。大人が一番に守らなくてはならないのは子どもたちです。

「ちいさいなかま」というのは、全国保育団体連絡会が出版している、保育者と父母を結ぶ雑誌です。お互いの立場を大切にしながら、でも子どもたちの育ちを何よりの願いとして手つなぎを大切にしたいと思っている全国の保育者、お父さんお母さん「おおきなかま」で作っている雑誌です。今一番大切なことは、子どもたちの今と未来を幸せに満ちたものにすること。「ちいさいなかま」の見本誌を各園に置いています。月額390円。ぜひ、手に取ってみてください。

社会福祉法人あらくさ会 理事長 辻村 久江

